

1月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸 0.0km~7.0km 管轄出張所:安城出張所
実施日	令和6年1月9・10・16・25日	実施区間	矢作川左右岸上塚から河口まで

不法投棄に関する報告

2024.1.9

相変わらず、心無い方が不法投棄を行っている。

上塚橋直下にテレビが捨てられていた。また、土手にも湯沸かしポットや携帯ガスボンベなどが捨てられていた。

また河口から5.4-5.6km付近に、梱包されたままの大きな鏡が捨てられていた。



小型テレビ



ポット・ガスボンベ



梱包されたままの大きな鏡

2024.1.10

中畑橋のたもと(土手からは見えない場所)にごみが捨てられている。中畑橋を通過する時に車から一瞬見えるが、徒歩などで歩かない限り見過ごしてしまいそうである。



橋のたもとのゴミ

2024.1.16 河口付近に12月まであった冷蔵庫は、1月には見つからなかった。



2023.12月撮影



2024.1月撮影

2024.1.25

矢作川左岸河口から0.4-0.6km 右岸に比べ不法投棄は少ないがゼロではない。



大きなカゴ



クーラーボックスなど

1月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸 0.0km~7.0km 管轄出張所:安城出張所
実施日	令和6年1月9・16・19・25日	実施区間	矢作川左右岸上塚から河口まで

環境に関する報告

24.1.9 河口から5km付近の高水敷で鳥の羽が散乱しているのを見つけた。
また、上塚橋下流の河川敷内の河畔林の伐採が始まった。



きれいな羽根をいくつか並べてみると、猛禽類(ワシ・タカ)の仲間の羽のようであった。
野鳥に詳しい方に写真をお送りすると、ミサゴの羽であることが分かった。
土手を歩いていると、チョウゲンボウとミサゴを時々見ることがある。そのうちの1羽が
イタチやキツネに襲われたしまったのであろう。自然界の厳しさの一端が見えた。

24.1.16 1.9には気づかなかったが、表側の堤防の草刈りがされていた。外側(裏法面)の草刈りは
1ヶ月ぐらいかかっていたが、表法面はあっという間に終わったような気がする。
また、上塚橋下流にあった河川敷内の河畔林が伐採がかなり進んでいた。
そこに住んでいた動植物には少しかわいそうだが洪水を防ぐのには仕方のない事である。
23年12月に撮った写真があったので同じ位置で撮影して比較してみた。



工事の様子



23年12月の上塚橋下流側

河畔林が無くなり背景の家屋や遠くの山並が見える



24年1月の上塚橋下流側

24.1.16 矢作大橋から河口に近いところまで足を延ばしてみると、今まで見たこともないほど沢山の
軽トラと船そして漁師さんが、高水敷きに集結していた。しばらくすると船が、あちこちに移動し
始めシラスウナギの漁が始まったようだ。



沢山の軽トラ



沢山の船



シラスウナギ漁(準備?)の様子